

# プール清掃を通して



先日、6年生がプール清掃をしたことについて紹介しましたが、当日6年生が日記にこの体験を通して感じたことを書いていました。いくつか紹介します。

楽しみながらやることができたので、そうじをしている間、今が何時何分なのか忘れてしまいました。やる前は、同じ姿勢でブラシやたわしですっとこするから大変だと思っていたけど、やってみると、きれいになるのがおもしろくてやめられませんでした。

給食の時に先生が、6年生にお礼を言う放送を流していました。とてもやりがいがあって、やる気ができました。そして、他の学年から、「お願いします。」と、声が聞こえた時は、ものすごくうれしかったです。「絶対にきれいにしてやるぞ!」と思いました。

プールそうじをがんばれたのは、災害の時にみんなの力になるためだと思います。なので、一生懸命ゴシゴシこすりました。ものすごく暑かったです。そうじが終わると、「疲れたあ。」と言ってしまいました。その夜、ぐっすり眠ることができました。ぼくが思ったことは、プールはできなかったけど、みんなの力になって、うれしかったです。



わたしは、来年の人達にプールを楽しんでもらうためにきれいにして良かったなあと思いました。砂が多くて大変だったけど、みんなでいっしょにきれいにできたのでうれしかったです。

いつもは長く感じる45分がすぐに終わったので、集中していたということが分かりました。今年はプールは使わないけど、来年の人のためにきれいにしたら、心がスカッとしました。

今年プールはできないけど、「次、使う人達のためにきれいにするぞ!」という思いでプールをきれいにしました。

プール清掃を通して思ったこと、感じたこと。一つ目は、改めて人の手助けをする大切さを学んだことです。二つ目は、みんなで協力することです。協力することで早く終わり、他の所も手伝うことができます。他にも協力することで、きずなをもっと深めることができます。きずなを深めると、こん棒体操では息がそろったり、ミュージカルでは心を一つにしてがんばれたりすることがあります。また、協力することで、楽しくなります。